

経001	項目名	スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	29
年度	R元	所 属 名	
		経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【10次総の施策体系】 2102		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 商工業振興費	「鳥取市スマートエネルギータウン構想」（平成27年8月策定）のもと、地域エネルギー会社「(株)とっとり市民電力」、「とっとり環境エネルギーアライアンス合同会社」を設立。産学官が連携してエネルギーの地産地消を主導し、地域経済の循環（地域産業の振興や雇用の創造）の促進に取り組んでいる。また、平成28年3月には環境省より、低炭素・循環・自然共生に資する取組を通じて地域創生を実現するモデル地域として選定され、公共施設等への木質バイオマスボイラーの設置による地域資源を活用した低炭素なまちづくり・地域活性化に取り組んでいる。さらに本年には、道の駅西いなば気楽里に薪ボイラーを設置し、地域の豊かな森林資源を活用した木質バイオマス燃料の普及を推進している。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	9,592	本年6月25日、林野庁より「平成31年度『地域内エコシステム』構築事業』の対象として鳥取市西いなば地域（気高、鹿野、青谷）が採択されたことを受け、地域に豊富に存在する森林資源から木質バイオマス燃料（薪）を地域内で安定的に生産・消費する地産地消システムの確立に向けて専門家の派遣・支援を受けることとなった。	
要求額	2,000	これを機に、西いなば地域において、地域を巻き込みながら温室効果ガスの削減やコミュニティレベルでのエネルギー自給率の向上を図るとともに、地産地消型の持続可能な資源循環型システムを地域単位で構築し、地域社会と地域経済の活性化につなげる。	
総務部長段階査定額	2,000	【事業の内容】	
市長段階査定額	2,000	「薪の地域内安定供給網確立」「新たな熱需要先の開拓」「地域の熱意ある主体の組織化」に関する可能性調査を行う。	
区分	補正額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	2,000	財産収入	0
計	2,000	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

経002	項目名	国際経済交流推進事業費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	29
年度	R元	所 属 名	
		経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 市場開拓係 0857-22-3222		
款 商工費	【10次総の施策体系】 2102		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 商工業振興費	国内の深刻な労働力不足は、地方都市である鳥取市でも同様であり、外国人労働者が地域産業の振興に必要な不可欠な状況である。		
(単位：千円)	一方、ベトナムは、経済成長率6%超で経済が急速に発展しており、人口増加も見込まれ、本国他自治体においても、協体制を構築する動きが活発化している。		
補正前額	17,782	この状況を踏まえ、平成31年4月16日に、鳥取市国際経済発展協議会とベトナム：ハノイ市友好団体連合は、「経済・観光分野」、「教育・文化分野」での連携を約した覚書の締結に至った。	
要求額	3,048	【事業の目的及び効果】	
総務部長段階査定額	2,627	覚書締結を受け、生産拠点としてのみならず、市場としての魅力が増すことが期待されるベトナムの経済成長による外需と優秀な人材を地域に取り込んでいくための取組を早急に図る必要がある。	
市長段階査定額	2,627	このため、ベトナム経済団体とのパイプの強化を目的に、経済視察団を派遣し、各フェーズでの連携体制の構築を目指す。	
区分	補正額	【事業の内容】	
財源内訳		市内企業、市内経済団体、市、他による経済視察団の派遣（総勢40人規模）	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	2,627	手数料	0
計	2,627	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

経003	項目名	ビジネスマッチング支援事業費	
予算書項目	中小企業新規開発奨励事業費	ページ	29
年度	R元	所 属 名	
		経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【10次総の施策体系】2102		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 有効求人倍率が1倍を超え、雇用情勢が改善傾向で推移しているが、市内製造業の1人当たりの付加価値額が山陰他都市に比べ低い状況にある。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 中小企業等が商品、製品等の販路開拓を行うことにより、新たな販売ルートを開設し中小企業等の販売力及び競争力を向上させ、もって本市の産業振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 展示会出展事業 対象者：市内に事業所を有する中小企業者で、製造業、道路貨物運送業、倉庫業、梱包業、ソフトウェア業、デザイン業、機械設計業、情報処理・提供サービス業、インターネット附随サービス業などの事業を営むもの 対象経費：出展料、会場備品等リース料、印刷製本費、旅費、通訳費、展示品搬送料 補助金額：対象経費の1/2 限度額：1回目 25万円、2回目 20万円、3回目 15万円 (海外の場合はいずれの回数時点でも50万円) ※一企業につき、通算して国内・国外合わせて3回を限度とする。		
補正前額	3,000	上記補助事業に係る活用希望企業の見込みが増加したことにより増額補正を行うもの。	
要求額	1,000		
総務部長段階査定額	1,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,000	分担金	0
区分	補正額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,000	繰入金	0
計	1,000	贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

経004	項目名	食品加工産業育成事業費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	29
年度	R元	所 属 名	
		経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【10次総の施策体系】2104		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 本市は、日本海の新鮮な海の幸、そして豊かな自然が育む山の幸に恵まれている状況にあるが、市内製造業のうち、食料品製造業の事業所数、製造品出荷額等については県内他都市に比べて低い割合にある。 食品製造業は景気に左右されにくい安定的な業種であり、この産業の育成が地域経済の維持・成長に効果的である。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 市内食品加工産業における新商品開発や既存商品改良の取り組みを支援することで、特産品のブランド化・高付加価値化を推進し、産業の育成による本市の地域経済の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 （1）補助対象者 中小企業者、協同組合、生産者団体、など （2）補助限度額 100万円（補助率1/2） （3）補助対象経費 原材料及び副資材の購入費、外注加工費、機械装置費、委託料、など （4）補助要件 国、県、他の自治体及び各種団体等から補助をうけていない事業であること。		
補正前額	4,000	上記補助事業に係る活用希望企業の見込みが増加したことにより増額補正を行うもの。	
要求額	2,607		
総務部長段階査定額	1,607	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,607	分担金	0
区分	補正額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,607	繰入金	0
計	1,607	贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

経005	項目名	鳥取城跡桜整備事業費
------	-----	------------

予算書項目	観光活動費	ページ	29
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-----	----------------------

年度	R元
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)	
補正前額	0

要求額	2,930
-----	-------

総務部長段階査定額	2,930	その他財源の内訳	
		分担金	0
市長段階査定額	2,930	負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227

【10次総の施策体系】 2201

【事業の目的及び効果】
鳥取城跡は、市民の憩いの場としての都市公園（歴史公園）「久松公園」であり、日本さくらの名所100選にも選定されており多くの市民に親しまれている一方で、史跡保存管理計画等の既存計画の中では、桜の適正な管理について触れておらず、樹木の老齢化とともに本数が減り観光資源としての価値を損なう懸念があり早急な対応が必要とされている。

このような中、史跡を管理する本市教育委員会は平成30年5月に「史跡鳥取城跡（久松公園）サクラ管理計画」を策定し、史跡の適正保存管理を前提とした場内の桜の適正な管理方針を定めた。

策定された管理計画に基づき桜の木の補植を行い桜の名所としての久松公園を維持する。

【事業の内容】
「史跡鳥取城跡（久松公園）サクラ管理計画」に基づき20本の桜の木の補植を行う。

経006	項目名	国際観光推進事業費
------	-----	-----------

予算書項目	観光宣伝事業費	ページ	29
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-----	----------------------

年度	R元
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)	
補正前額	66,966

要求額	4,850
-----	-------

総務部長段階査定額	4,850	その他財源の内訳	
		分担金	0
市長段階査定額	4,850	負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227

【10次総の施策体系】 2201

【事業の目的及び効果】
東アジア市場を中心とした効果的な誘客宣伝、広報活動等を行うことにより、外国人観光客の誘致を図る。併せて、外国人観光客の受入環境を整備し、おもてなし体制の充実を図る。

【事業の内容】
増加傾向にある外国人観光客の周遊を促進するため、外国人観光客2000円タクシー（ひとり3時間）の運行補助金の増額を行う。

【事業の実績】
利用件数
平成28年度 7,124人
平成29年度 6,018人
平成30年度 6,376人
平成31年度 2,924人（4月～6月）

経007	項目名	鳥取市道の駅管理運営費
------	-----	-------------

予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	29
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-----	----------------------

年度	R元
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

補正前額	5,262
------	-------

要求額	3,231
-----	-------

総務部長段階査定額	3,231
-----------	-------

市長段階査定額	3,231
---------	-------

区分	補正額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,231
計	3,231

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要
<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【10次総の施策体系】 2201</p> <p>【事業の経過及び背景】 本市の観光情報の発信及び地域特産品の紹介を通して、観光振興及び地域の活性化を図るため、本年6月30日に、本市第3の道の駅となる「西いなば気楽里」をオープンした。管理運営は指定管理者である鳥取西いなばまちづくり株式会社が行っている。</p> <p>【事業の内容】 道の駅西いなば気楽里の工事遅延に伴い、予定していたオープン日が延期（6月1日→6月30日）したため、その期間における指定管理者の経費の一部を補償する。（人件費および使用料：3,231千円）</p>